

太陽黒点観測報告

2018年3月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月も、蓼科へは入らずに横浜の自宅での観測となった。天気の変化は周期的になり低気圧が日本海で発達して南風の強まることが多かった。関東の春一番は1日に吹いている。上旬末と中旬末には気圧の谷の通過で曇天傾向が数日続いたが、下旬になると大きな移動性高気圧の中で晴天が続いた。気温も南風が入ると暖かくなり、各地で桜の開花も平年より早くなっている。とはいえ前線通過後には寒気が南下することもあり、南岸の前線の影響で21日には関東南部でも昼間に雪が降り、隣家の屋根も一時白くなった。

黒点活動は、極小期の様相で22日間の観測日の中で、黒点があったのは5日間だけで、それも寿命の短い小型群ばかりであった。今期は2201~2202周期の観測だったが、私の所では、北半球に1群、南半球に1群の新しい黒点群を観測しただけであった。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻, 北半球, 南半球, 全面, 中心帯, 相対数, 視相, 肉眼黒点群, 天候. Rows for dates 01 to 31.

合計 3 5 2 3 5 8 0 0 58 0 -- (-/0日)

相対数(10g+f) 35 23 58 0
日平均相対数 1.6 1.0 2.6 0.0
相対数活動比 60.3% 39.7% 0.0%
相対数前月比 -20.5% -92.5% -83.4% -100%
日平均相対数修正値 (k=0.6) 1.0 0.6 1.6 0.0

観測日数 22日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント





